

# 厚木基地と着艦訓練が岩国に移転



アメリカの戦略変更で岩国基地が強化

アメリカ軍は、今、世界的な規模で基地の再編を行なおうとしています。この中で神奈川県厚木基地の空母艦載機部隊を岩国基地に移転する案が浮上しています。そして、岩国で、空母艦載機の着艦訓練もやるうというのです。

基地再編の目的はアメリカの新しい世界戦略にもとづくもので、イラク戦争のような先制攻撃の戦争に、世界中どこでも参戦しようというものです。アメリカの都合による基地のたらい回しで、どうして私たちが苦しめられなければならないのでしょうか。



岩国基地のアメリカ軍機がイラク攻撃に参加

イラク攻撃に岩国基地の所属機が参加していたことが明らかになっています。岩国がイラク戦争の出撃基地となり、テロの対象ともなりかねないのではないでしょうか。

山口県知事、岩国市長は着艦訓練と基地の機能強化に反対

二井山口県知事も井原岩国市長も、岩国基地でのNLP（夜間着艦訓練）に反対を表明。また岩国基地の機能を強化することについても容認できないとしています。

また山口県議会も岩国市議会も、「着艦訓練反対」「基地機能強化反対」の決議を採択しています。厚木基地の岩国への移転に反対することは、地元住民の総意ではないでしょうか。



新しい滑走路建設が呼び水に

岩国基地を4倍に広げる「滑走路移設事業」は基地の拡大・強化そのものです。これが厚木基地を岩国に呼び込むことになっているのではないのでしょうか。

日本共産党は立場をこえて力をあわせます

日本政府はアメリカのいいなりです。地元住民の反対を無視して、厚木基地移転を岩国市に押しつけてくるのが考えられません。

国からの「財政的支援」などの「アメ」も予想されますが、厚木基地が岩国に移転してくれば、市民の平和と安全はいっそつ脅かされ、騒音被害も大きくなり、岩国市の発展は閉ざされてしまいます。

日本共産党は立場をこえて、厚木基地・着艦訓練移転反対の一点で共同します。大きな世論と運動をつくりあげましょう。



全国で基地強化反対の住民パワーが!

沖繩・伊良部町 町議会の自衛隊誘致決議を、町民の過半数約3500人で説明会を開き追及。住民の力で撤回させる(05年3月)

神奈川県・座間市 市、議会、自治会ぐるみで米陸軍第一軍団司令部移転に反対し、自治会掲示板にポスター、市役所に垂れ幕掲げる。2700人の市民集会も(04年12月)

岩国民報

2005年4月号外

発行所 日本共産党 岩国市委員会 岩国市山手町 4-3-5 22-2245